No.15 …… ご使用に当って特に注意して頂きたいことのレポートです

# TOP SAFETY REPORT

## トップ吸引カテーテル（口・鼻腔用）

## 1 正しい操作を身につけましょう

吸引カテーテルを口または鼻腔内へ挿入して使用する場合、吸引操作はカテーテルを抜きながら行います。カテーテルを挿入する時には吸引圧をかけないようにし、挿入後に陰圧をかけながら、カテーテルを左右に回し、ゆっくりと引き抜きながら吸引します。吸引カテーテルの種類によっては陰圧のかけかたが違ったりするので、操作には注意が必要です。

### Check 1 挿入する深さを決めます

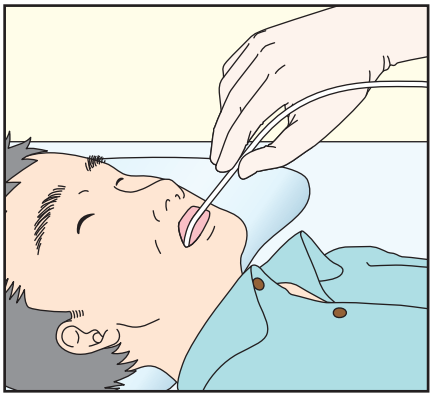
事前に挿入する深さを決めておいてください。挿入過多の場合、カテーテルが抜去できないおそれがあります。

### Check 2 滅菌手袋を装着します

操作をする前には、滅菌手袋の装着をお勧めします。

### Check 3 口腔内へ挿入します

吸引カテーテルは、先端から約10cmくらいの所をセッシで持つか、親指、人差し指、中指の3本でペンを持つように握り、静かに挿入します。



### Check 4 慎重に挿入します

挿入の際は、口腔、鼻腔、咽頭、気道粘膜への損傷に注意してください。

### Check 5 吸引圧のタイミング

目的の場所に挿入するまで、吸引圧をかけないでください。

### Check 6 吸引圧の目安

吸引圧の目安は、20kPa（150mmHg）とされています。

### Check 7 ゆっくりと引き抜きながら吸引します

吸引は、カテーテルを左右に回し、ゆっくりと引き抜きながら実施してください。

### Check 8 素早い操作を心がけましょう

吸引操作は、できるだけ素早くすませるようにしてください。

## 2 低酸素状態にある患者に使用する場合

特に吸引圧、吸引時間に注意してください。無気肺をきたすおそれがあります。

株式会社トップ 安全管理部
〒120-0035 東京都足立区千住中居町19番10号

使用の際には、必ず詳細を添付文書及び取扱説明書にて確認してください。